



上弓削の町並み（昭和30年代）
愛媛県歴史文化博物館蔵
（故村上節太郎氏撮影）

ふるさと 上島学への招待

⑭



上島町教育委員会
有馬 啓介

港町と住まい

上島町にある町並みの多くは、歴史的な背景から考えると、港の周辺に形成された港町です。港町には、かつては主として海運業や漁業に従事する人々の住まいが立ち並んでいました。

明治13年（1880年）に出された『伊予国越智郡地誌』から、佐島・上弓削・下弓削・魚島・生名・岩城の村々で所有した船舶の数を知ることができます。漁船だけでなく、多くの商船が見られます。商船は、積石数（満載した時の積荷の重量を米の石数で表したもの）が50石未満のものが多くを占めていますが、僅かですが200～500石の大きさのものもありました。

時代が遡り、日本列島における中世の港町は、大陸との貿易船が寄港し、荘園の年貢の積出で栄えた瀬戸内海沿岸に集中しています。尾道や鞆の浦は、中世の瀬戸内海沿岸を代

表する港町です。弓削島荘及び石清水八幡宮の荘園であった島々の港も年貢等の積出港の役割を担っていたと思われます。その後、江戸時代になり、航路が「地乗り航路」から「沖乗り航路」へと移行すると、御手洗（現在の広島県呉市）等の港町は、新たな繁栄を迎えました。上島諸島周辺の航路は、鼻栗瀬戸、岩城、弓削瀬戸、鞆の浦を通りました。

上島町の古くからある町並みには、地域の特徴をよく表した住まいが今も見られます。その意匠に、腰なまこ、焼杉、鍍絵（こてえ）等が挙げられます。それらの住まいに見られるデザインは、単なる意匠ではなく、耐火性・耐久性といった機能も付与されています。海と共に栄えた町並みを船から眺めた後、ゆっくりと細い路地を散策すると新たな発見や感動に出会えるかもしれません。

「食」をテーマに地域振興を

こんにちは。6月1日から島おこし協力隊として上島町にやってきました、佐藤仁美です。弓削島の企画政策課に在籍しており、活動をしています。上島町にやって来て2か月、少しずつ島での生活にも慣れてきました。

私は、生まれも育ちも東京都で、大学卒業後はずっと飲食店で働いてきました。ベトナム料理屋、おでん屋、魚料理屋などで働いてきましたが、どこも個人経営のような小さな店でしたので、ホール・キッチンなどの区別はなく、仕入れから調理・接客など様々なことをしてきました。

私は、協力隊として主に「食」をテーマに活動していきたいと考えています。食事は、単純に人間が活動していくために摂取するエネルギー・栄養ではありますが、そこに美味しさ、楽しさ、などの付加価値が加わることに

よって、人と人とのコミュニケーションツールにもなりますし、大事なリラックスの時間にもなります。

上島町に来てからよくスーパーで買い物をしていますが、東京とは並んでいる魚の種類も違いますし、呼び方が違ったりもします。食品のメーカーも、いろいろ違います。昔から住んでいる人には「当たり前」のことなのでしょうが、そんな日常で目にする食のちょっとした違いが、私にはとても新鮮で、日々の楽しみとなっています。

このような日常生活の中に、上島町の、島ならではの魅力はたくさんあると思います。住人の方にとっては「当たり前」の魅力を、外の地域の人々に知っていただく、そのようなお手伝いをしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひします。



島ならどここの岩場にもあるカメノテ。東京の魚料理屋では築地で仕入れていました。

島おこし 協力隊 活動報告



島おこし協力隊
佐藤 仁美

弓削高等学校

<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



愛媛県総合体育大会出場

平成28年6月3・4・5日に愛媛県高等学校総合体育大会が行われ、男子テニス部とバドミントン部が出場しました。男子テニス部主将の時本真弥さんは「今回の県総体が高校生最後の試合となりました。結果としては負けてしまいましたが、悔いが残らない試合ができたと思います。応援ありがとうございました。」と話していました。バ

ドミントン部主将の岡本紳太郎さんは、「部員全員が、この日のために一丸となって精一杯努力してきました。結果は残念ながら負けてしまいましたが、全員が最後の最後まであきらめず戦いぬくことができたので良かったです。」と話していました。



第19回俳句甲子園四国地区大会松山会場に出場

NPO法人俳句甲子園実行委

員会主催の第19回俳句甲子園四国地区大会松山会場が松山市大街道で実施され、文化活動部を中心とした5名の生徒が出場しました。文化活動部部長の寺澤沙矢さんは「学校生活最後の俳句甲子園に参加させていただきました。結果は「もう一回ディベートしたい!」と熱い闘志を残したまま散ることとなりましたが、本当に楽しく、最高の時間でした。」と話していました。



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>



第42回瀬戸内商船高専2校定期戦を開催

平成28年6月18日(土)、今年で42回目を迎える広島商船高専との定期戦が開催されました。

当日は、梅雨期にもかかわらず晴天に恵まれ、弓削及び広島各会場で計13のスポーツ競技が行われました。

陸上競技、硬式野球、テニス、サッカー、バドミントン、カッター、バスケットボール、卓球、水泳では惜しくも敗れましたが、バレーボール、ソフトテニス、ラグビー、剣道では弓削商船高専が見事勝利を収めました。

両高専の学生は、日頃の練習成果を発揮し、元気に競い合うとともに、競技を通して親睦を

図ることができました。



図書館でアニマルボールペンプレゼント企画実施中

弓削商船高等専門学校図書館では、本を10冊借りた方にアニマルボールペンを1本プレゼントしております。実施期間は平成29年3月末までとなっております。どなたでも参加頂けますので奮ってご参加ください。

なお、貸出しカード発行の際は身分証明書が必要となります

ので、ご持参ください。

また、夏休みの期間中、小学生以下の方を対象に、図書館へ8回来館してくれた方へ、アニマルボールペンを1本プレゼントしております。

新聞や雑誌などもあり、企画展示コーナーでは、夏にお薦めの図書を展示しております。

ぜひ弓削商船高等専門学校図書館にお越しください。

